

第21回 電気システムセキュリティ特別技術委員会  
議事録(案)

日時 : 平成29年 7月 28日(金) 15時00分~17時50分

場所 : ルーテル市ヶ谷センター 第2会議室

出席者 : 栗原委員長, 徳田委員(A部門代表), 芹澤委員(C部門長), 泉井委員(C部門代表),  
小林委員(D部門代表), 笹岡委員(E部門代表),  
餘利野委員(2号委員), 奥村委員(2号委員), 毛塚委員(2号委員),  
桂幹事(敬称略), 以上10名

配付資料

- 資料21-0 第21回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事次第
- 資料21-1 第20回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事録(案)
- 資料21-2 電気システムセキュリティ特別技術委員会 委員名簿
- 資料21-3-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料21-3-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料21-3-3 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」活動報告
- 資料21-3-5 「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料21-4 第2期の活動に関するアンケート 回答状況
- 資料21-5 平成30年全国大会 シンポジウム
- 資料21-6 電気システムセキュリティ特別技術委員会関連 進捗状況

議事概要

1 開会挨拶

栗原委員長より, 開会にあたり挨拶があった。

2 前回議事録の確認

資料21-1に基づき, 平成28年12月19日に開催された第20回委員会の議事録(案)について確認を行い, 承認された。

3 特別調査専門委員会からの報告

3-1 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」(泉井委員)

資料21-3-3に基づき, 活動状況について報告があった。

第2回委員会(2月3日), 第3回委員会(4月7日), 第4回委員会(7月6日)での審議内容について報告された。

(笹岡委員) 情報セキュリティの三要素は機密性, 完全性, 可用性であり, それぞれに関して NISC, 名工大より招待講演者を呼んで調査を行った。

3-2 「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」(毛塚委員)

資料21-3-5に基づき, 活動状況について報告があった。E部門誌平成30年8月号での特集号の企画が承認されたことが報告された。最終報告を2018年の全国大会シンポジウムにて行うことを予定している。

委員会設置期間の延長申請が出され, 内容確認の後, 承認された。

- ・当初活動期間: 2014年11月1日~2017年10月31日
- ・延長希望期間: 2014年11月1日~2018年3月31日(5ヶ月の延長)

(栗原委員長) 延長理由は、構造物を対象とした技術の調査が不足しているということなのか。

(毛塚委員) モニタリングも含めて調査していかないといけない。

(栗原委員長) 「構造物を対象とした～」というのは具体的に何を指すのか。

(毛塚委員) 老朽化に対しては従来の技術ではできず、精度を上げるためには新しい技術が必要である。

(栗原委員長) 延長申請理由については、より具体的なイメージが掴めるように修正を頂きたい。

#### 4 成果の取り纏めに関する報告

##### 4-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」(徳田委員)

資料21-3-1に基づき、技術報告単行本の編集作業について報告があった。本文と付録を合わせて約300ページとなる予定であるが、可能な範囲での軽量化を考えている。9月に原稿を出版社に渡すことで作業中である。

(栗原委員長) 解散報告書の手続きを進めて頂きたい。

(栗原委員長) 価格はどれくらいになるか。

(徳田委員) 5,000円程度ではないか。

(栗原委員長) 自動運転のセキュリティに関して検討は必要であろう。

(徳田委員) プラスのイメージでないところがあり、自動車会社から委員を出して頂けるかについては難しいところがある。

(栗原委員長) 情報の公開に関しては厳しいテーマであろう。

##### 4-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」(餘利野委員)

資料21-3-2に基づき、技術報告(に準じるもの)の編集作業について報告があった。

整理委員会を8月7日～8日に開催する予定である。整理委員会の設置が9月までなので、それまでに完了できるように進める。

特別技術委員会のホームページを立ち上げて頂き、ダウンロードできるようにしたい。電気学会のトップページにもリンクを張って頂けるようにして頂きたい。

(栗原委員長) ダウンロードできるものが1つだけしかないサイトを作るのには少し違和感がある。

(餘利野委員) 章ごとに独立した内容なので、章ごとにダウンロードできるようにできないか。

(栗原委員長) 特別技術委員会のページ内に置いてトップページからアナウンスする方が良いのではないか。

(餘利野委員) 一般向けに分かりやすく書いているので、目立つところに置いて頂けないか。

(栗原委員長) 男女共同参画推進委員会と同じような形で特別技術委員会のホームページを作るように進めたい。情報発信WGを作って一般向けのアピール方法について検討をすることも考えられる。

4-3 「スマートグリッドのスマートファシリティ内における EMC 環境特別調査専門委員会」(奥村委員)  
技術報告に加えて、本誌での特集号企画が承認された。特集号の発行は平成30年6月号を予定している。特集号と技術報告の内容に齟齬がないように設置期間の再延長を検討している。

(栗原委員長) 調査活動を終えているので、解散報告書を提出して頂き、整理委員会として特集号の編集作業を進めて頂くのが良いのではないかと。

#### 5 第2期の活動について

資料21-4に基づき、アンケートの回答状況ならびに経営企画委員会での会長スローガンの検討状況について確認を行い、今後のテーマ等について検討を行った。

(栗原委員長) 各部門中心のものを1つずつという形態ではなく、部門横断的のテーマを検討していきたい。

(芹澤委員) 8月3日の役員意見交換会でプレゼンを行う予定である。

(泉井委員) 横山会長のイメージと本特別技術委員会の関係はどうなるのか。

(芹澤委員) 今部門横断で活動を行っている本特別技術委員会の内容が参考として紹介された。

(小林委員) 各部門だけではスマート社会の構築はできないので、いかに部門が連携できるかが重要であろう。

(栗原委員長) 作業会を開いてテーマの整理が必要であろう。ブレインストーミングを行いたいため、各部門でふさわしい方がいればお声がけ頂きたい。

#### 6 平成30年全国大会シンポジウムについて

資料21-5に基づき、全国大会シンポジウムについて確認を行った結果、本特別技術委員会からの企画提案は見送ることが承認された。

#### 7 その他

なし

以上

次回：ブレインストーミングを開催